

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 クロスロードもこもこ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	・状況によって、安全・快適に過ごすには手狭になる事もある。親子行事等のイベント時には外部の施設(地域交流センター等)を借りて行っている。 ・感染症対策で、密にならないよう個別課題や療育内容に合わせた空間分けする。 ・1人1人が思い思いに遊べる空間づくり、落ち着いて過ごせる空間づくりに配慮	
	2	職員の配置数は適切であるか	10	0	・利用人数や個々のお子さんの状況に合わせ、その都度 職員配置を行う。 ・他の事業所より、加配人数を手厚く配置している。	・保護者向けに職員紹介もしていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	・送迎車の駐車場が階段下で道路に面している為、安全対策等の配慮は必要であるが、送迎車の出入りの場面では、必ず送迎担当以外の職員も立ち合い安全確認。 ・写真や絵カードなどを使い、子ども達が分かりやすい様 視覚支援に配慮している。 ・限られた環境の中で、空間の構造化に配慮し、工夫している	・療育参観等への誘い掛けで、事業所の環境を知ってもらう機会を作りたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	・保健担当の職員を中心に室内や遊具、送迎車などのアルコール消毒を実施、毎日の清掃に心がけている。 ・園庭が狭いため、公園などを利用した野外活動を充実させたり、体験学習に重点をおいて活動するようにしている。	・体幹が整っていない子も多いため、今後も屋外活動を十分行っていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	0	・定期的(月1回)にミーティングや教材研究の時間を取り、職員が情報交換をする機会を作っている。 ・それぞれの職員が役割(体育・知育・徳育)を意識して業務につとめている。 ・課題や対処法を必ず職員間で協議し、意思統一を行うようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	・アンケート結果を受け、活動内容に取り入れられるか職員間で話し合いを行っている。 ・連絡帳にて保護者との意見交換を実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	・年度末に、ホームページにて公開中。保護者にも、お便りで連絡している。	・周知徹底が足りないようなので、これからも情報発信していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	0	・第三者委員を委託済み。外部評価の結果をグループ全体の業務改善につなげていく。	・外部評価の結果をグループ全体の業務改善に繋げていく予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	・1人1回以上の研修参加を義務付け、自己研鑽を図れるようにしている。 ・研修へ行く職員の偏りが無いよう、配慮している。 ・定期的に子ども達のケース研究をしている。職員間で話がしやすいので助かる。	・職員ミーティング時を利用して、施設内研修(外部講師からの研修を含む)の機会を増やしたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・個別面談で、子供の状況、保護者のニーズを把握して支援計画を作成している。 ・職員会議等で職員間でケース検討をし、色々な視点を大切にしながら支援計画に繋げている。 ・子ども達の「日々の様子」保護者との「何気ない会話」を大切にしている。	・ケース会議の回数を増やし、支援計画に繋げていきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	0	・アセスメントツールにプラスして「発達支援チェック表」を作成。職員間で評価、協議を行っている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	10	0	・日中一時支援、送迎支援などのサービスを行っている。サービスの活用を通しての家族連携や必要に応じた関連機関等との連携などの地域支援を実施し、個別支援計画に示している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	・職員間で子供の状況の情報交換を行い支援している。 ・児童発達支援計画に基づいた日々の療育プログラムを組み立てている。 ・支援計画に沿っているか、定期的なチェックで見直し、支援に反映させるよう心掛けている。	・支援計画へのチェック体制が職員全員で出来る様、工夫したい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	・療育内容の領域別担当を決め、担当者が中心となって話し合いをしながらか計画を立てている。 ・「午前療育」「午後療育」のチームで、月2回活動プログラムのミーティングを実施。複数の職員での話し合いを大切にしている。 ・子ども達1人1人の発達を考え、「ねらい」を持って活動出来る様に話し合っている。	・勤務表に、活動プログラムのミーティング日を明記し、時間が取れるようにしたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	・療育内容の領域を月替わりのローテーションで回しながら固定化しない様にしている。子供たちの興味の尺度を見て、療育内容に盛り込むようにしている。 ・日ごと、週単位で目標を立てながらプログラムを立てている。	
	16	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・子ども達の状況を把握し、「この子の今」を大切に考えながら、一人一人に応じた支援内容としている。 ・利用人数や利用メンバーに応じて個別活動と集団活動を組み分けしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	・利用メンバーに合わせて職員の担当や配置の打ち合わせを実施(その日の主となる職員が確認)職員間で話し合い役割分担をすることで、子ども達に支援すべき課題も共有出来ていると思う。 ・チーム間で、「話しやすい雰囲気(職場)づくり」を大切にしている。 ・日々のミーティング時間が取りにくかったり、全員で集まる事は難しいが、昼食時などを活用したり、話し合ったことは必ず伝達し合うなど、工夫。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	・職員間での意見交換や情報共有をするようにしている。話し合いを持つことで、お子さんの課題が共通理解できている。 ・療育中で「どこが良かったか」「改善点はあるか」を職員間で出し合い、情報共有に努めている。 ・職員間の「気づき」を大切に、職員同士で声を掛け合い、確認するようにしている。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	・連絡帳をベースとし、個人記録を残すようにしている。 ・保護者にも、日々の療育について関心を持って貰えたり、支援計画に反映できるように心がけている。		

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	・発達支援チェック表や保護者からの面談シートをモニタリングの参考とし、定期的(午前療育・午後療育別)に話し合いの時間を持っている。	・療育会議時に職員間でケース別の意見交換を行いながらモニタリングを進めて行く事とする。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	・児童発達支援管理責任者、管理者が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	0	・保健センターの保健師さん、子育て支援センターのスタッフさんとの情報交換を行ったり、助言を頂くようにしている。	・通所を楽しみに待ってもらえる様、プログラムを見直したり、1日のスタートが上手く始められる工夫をしていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	・該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	・該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	・幼稚園・保育所の見学やサービス担当者会議等で情報交換会を行っている。 ・必要であれば、相談事業所に働きかけ担当者会議を開催し、支援方法を共有しながら、一貫して支援が行えるようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	・関連の小学校・特別支援学校への情報提供や情報交換会を行っている。 ・毎年、就学説明会には参加するようにしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	0	・例年、児発管会議にて各連携機関との情報交換を密にしたり、発達支援センター主催の研修会等に積極的に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	0	・保育園、幼稚園等並行通園されている利用者は多い。 ・地域の「遊び場」や児童センター、インクルーシブパークの活用など、園外保育で訪れるようにしている。 ・例年、地域の防災訓練に参加し地域の人や小学校の生徒さんとの交流が持てているが、今年度もコロナ対策の影響で実施できなかった。	・コロナ禍のため、企画しづらかった。今後は、障がいの無い子どもさんとの交流会が少ないので今後増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	10	0	・担当職員が参加するようにしている。ズーム会議のため、業務中の参加が難しかったりした。	・送迎業務があり、時間帯によっては会議に参加できないこともある。職員が参加出来る様に調整していきたい。
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	・連絡帳の活用、送迎時や親子行事日捉えて、お子さんの状況を伝えている。 ・職員間で子ども達の支援同様、保護者支援を大切にすることを職員間で申し合わせ、「保護者に寄り添える支援」をチームで考えている。 ・支援のヒントになる可能性が大きいため、情報提供・共有・収集を保護者で行うようにしている。 ・親子行事の時には、必ず「茶話会」等を設け、情報共有する場を作っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	0	・親子行事を大切にしている。また、日々の連絡帳で保護者の方から問題提起をしてもらえるよう、働きかけをしている。 ・外部のペアレントメンターさんや専門家を招いての、家族支援プログラムを実施。 ・保護者の状況(家庭への介入が難しい)によっては、支援が届きにくい場合もあるように感じる。	・今後も、保護者向けに、外部のペアレントメンターさんや専門家を招いての研修会開催等を実施し、家族支援プログラムに取り組んでしていきたい。 ・発達支援センターで実施される研修に参加。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	・契約時に実施。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	・6か月ごとのモニタリング時に同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	・定期的なモニタリング時、親子行事日などの機会をとらえて実施。 ・要望があれば、即時対応を心がけ、電話相談や送迎時をとらえて対応出来る様になっている。 ・外部から専門家をお呼びして相談会を実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	0	・父母の会は無いが、親子体験型の行事(親子遠足、親子ダンス教室、療育相談会、講演会)等を企画するようにしている。	・今後も、保護者が集える機会を増やし、横の繋がりを深めていきたい。 ・連携する短大の協力も得ながら実施予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	・要望があった場合は、速やかに面談日を設けるようにしている。 ・コロナ禍で面談も頻繁に実施出来なかったが、今年度より相談会を復活、「自由参観」「親子遠足」への誘い掛けで、保護者から声をかけて貰いやすい場を設定するようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	・月1回の園だより、季節の保健だよりを作成し発信している。 ・必要であれば、連絡帳の活用や日々の送迎時に伝えるようにしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	・個人情報に触れる事項(写真掲載等)は保護者から承諾を得て実施している。 ・鍵付きの保管庫にて漏えい防止をしている。	・「個人情報の取り扱いには、慎重に対応する」ことを再度 職員間で意識共有を図っていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	・口頭だけでなく、視覚支援で理解してもらいやすい工夫をしている。 ・必要であれば、マンツーマンでの個別対応をするなどして、配慮している。 ・保護者には、同行支援や行政へ援助依頼を要請するなど対応している。	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の畑を借用。アドバイスを受けながら子ども達と野菜栽培をしている。</li> <li>・例年、地域のショッピングセンターを利用した買い物体験等の行事やお散歩等で地域の方と触れ合う活動を企画しているが、今年度はコロナ禍の為、実施するのが難しかった。</li> <li>・今後、地域住民を招待するような行事を企画していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、地域住民を招待するような行事を企画していきたい。</li> <li>・保護者にも地域連携の取り組みについて周知していきたい。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを作成、保護者にも配布し、担当職員を決め、定期的に訓練(避難訓練・引き渡し訓練など)を実施している。</li> <li>・各種訓練を通して、避難場所の小学校や消防署、警察署も訪問し、日ごろから連携を取り、専門的なアドバイスを頂くようにしている。</li> <li>・定期的な保健日より等で、感染症対策や予防を保護者にもお願いしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時にマニュアルを説明・配布している。今後も周知徹底していきたい。</li> <li>・利用日によっては、体験できないお子さんがいるため、工夫していきたい。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画の中に位置づけ、定期的実施している。避難訓練を定期的に実施し、実践を大切にしている。</li> <li>・子ども達が必要以上に不安感を持たない様、配慮しながら行っている。</li> </ul>	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の職員に相談しながら行っている。</li> <li>・服薬時には与薬依頼票を必ず提出していただき、症状を確認。</li> <li>・発作・アレルギー等のあるお子さんについては、対処法のフローチャートを掲示し、直ぐに服薬・緊急通報等の対応が出来る様になっている。</li> </ul>	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のアセスメントや食事に関するアンケート調査を行い確認対応をしている。</li> <li>・「食物アレルギー」のあるお子さんには、個別対応をして食材を提供している。</li> <li>・職員の誤配が無い様一覧表を作成。職員の目につく場所に掲示し全員で把握。</li> <li>・誤食を防ぐため、お皿を変えたり、職員間で声掛けをして提供している。</li> <li>・医師の指示書を提出してもらったり、食べ物の保管場所を区別したり、保護</li> </ul>	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集を作成し、職員間に周知済み。今年度は、小さなヒヤリハットも見逃さず、記録を取る様申し合わせ、職員間での声掛けをしている。</li> <li>・過去の事例を見ることもできるので参考になる。</li> </ul>	・今後も、職員会議時にヒヤリハットの記録を検証する時間を設けていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の主催する虐待防止の研修会に職員が交代で参加をし、施設内での伝達研修も行っている。</li> <li>・保護者の目から見た「虐待」の視点もお聞きし、参考にするようにしている。</li> <li>・日ごろから、職員間で「大丈夫？」と思ったことは話をするようにしている。</li> </ul>	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束におけるマニュアルを示して説明し、保護者からの承諾を得るために、全利用者の児童発達支援計画に記載済み。</li> <li>・該当児童なし。</li> </ul>	・児童発達支援計画には記載してあるが、定期的な面談時に繰り返し保護者に説明していきたい。